

TAKE FREE

MOVE

心が動くまちKOIWA



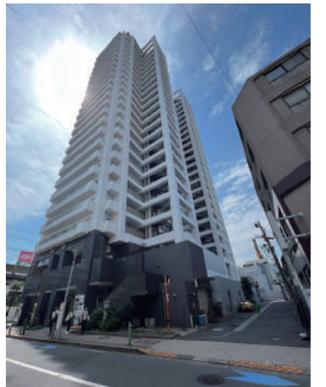
MOVEは、小岩の暮らしがもっと楽しくなる情報をお届けするフリーペーパーです。

2023 # 002

ワタシ and コイワ

002

MOVE 創刊記念企画！長年小岩をリードしてきた方から、小岩との関わりや小岩への思いをお聞きします。
第2回は小岩駅北エリア商店街の皆さんにお集まりいただき、話を伺いました。



入り組んだ路地に多くの店がひしめいていた「柳小路」も、2007年のマンション開発により雰囲気ががらりと変わった。

賑やかだった小岩のまち、小岩の夜

植草：昔の小岩で思い出すのは、小岩駅って今みたいに高架じゃなかったんですよ。それが50年くらい前に高架になって今のまちの形ができた。それをこれから再開して、また100年先を見据えたまちづくりをしようとしている。すごいですね。

久保田：駅、渡れなかったですよ。大踏切っていうのがあって、向こうに行くのが大変。小岩駅で折り返し運転もあったから、踏切がなかなか開かないんですよ。

植草：並川さんは小岩生まれ？

並川：小岩に来たのは18の時だけ、踏切のことは覚えてますよ。

植草：映画館もいっぱいあったんだよね。

久保田：南北両方で8館あった。西小岩通りだけで3館。柴又街道の方にも2館あったでしょ。あとドブ活、今の南小岩コミュニティ会館ね。駅の前にもあったし、今のドン・キホーテもそう。今よりだいぶ賑やかだった。

植草：賑やかで言うと、やっぱり水商売は昔から多かったですよ。キャバレーやクラブが多いから、錦糸町なんかよりすごかったよ。

並川：ハリウッドなんてキャバレーが有名でした。それから柳小路の奥の方には高級クラブがあ

って、ホステスさんがみんな着物を着ていた。お迎えに来る黒塗りのハイヤーがずらっと停まっていたって。

植草：そうそう。あそこには一本柳が立っていて、それで柳小路って言われていたのかな。今の新宿ゴールデン街を想像すればいいんだよ。アーケードの入口があって、お店の名前が書いてありましてよ。

—— 繁華街として一番栄えていた頃ですね。高橋さんはその頃の何を覚えてますか？

高橋：そういう場所には行っちゃいけないよって言われていました。子どもだから行く用事もないですけど。シヨンペン臭い。立ちシヨンが多かったからそのイメージが強烈にありますね(笑)。

並川：行っちゃいけないって、言われていたみたいよね。地藏通りと一緒に。

高橋：確かに飲み屋は多いですけど、怖いとかはあまりないですね。逆に、緊急事態宣言で店が閉まっている時、真っ暗で怖かったですよ。シャポーがリニューアルオープンして、まただいぶ変わるんじゃないですか。

注目される小岩の「おもしろさ」と「くらしやすさ」

—— その頃と比べると、今の小岩の印象はだいぶ変わりましたね。



北口エリアはコンパクトだから熱気が高くておもしろい

有名店が小岩にあって、都心からわざわざ食べに来る人が多い。あとはもつ焼き屋さんですよ。そういう小岩の魅力の店は、案外地元の人の方がわかっていないのかもしれないよ。

植草：今みんなスマホで調べるもんね。俺たちは馴染みの店しか行かないから、幅が広がらないのかもしれない。

—— でも、そういう地域の結びつきが強くて、近所同士の繋がりが深いのも小岩のいいところですよ。「等身大でいられるからくらしやすい」という声も聞かれます。

高橋：わかります。僕は以前神楽坂に住んでいたことがあるんですよ。あそこも下町だから、小岩

特別座談会 私たちが好きなまち「小岩」の



激しく優雅に踊る「小岩阿波おどり」(2019年7月撮影)

と同じ感覚でラフな格好で買い物に出たら、カメラを持った観光客や外国人がいっぱいいて慌てました。小岩ではそういうことはないから案ですよ。久保田：ご近所付き合いといえは、北口の町会はお祭りや盆踊りを結構派手にやりますよ。昔は銀行の駐車場を借りたりしていたけれど、今は北口駅前広場で。そういうイベントが盛んだから、人同士が繋がりがやすいのかもしれない。

今、伝えたい小岩の魅力とこれからの小岩に期待す

植草：本当に小岩は気取らないまち。あまり人の目を気にしなくてもいい。

久保田：でも、大人向けの飲食店が多いからね。これから小岩に新しく住む人も増えるし、もっとファミリーが集まって食べられるお店が増えるといいね。

植草：小岩は気楽でのんびりしていいんだけど、最近「まちも歳をとってきた」って思うことが多いんだよね。みんなが安心して長く暮らせるまちだというのはいいことだけど、もっと若い人がどんどん入り込んで来て、若返ってくれるといいな。

小岩は昼と夜とで一変する昔は今以上に華やかだった



小岩の外に住んでいる人も、この魅力を発見してくれる

50代・60代・70代と世代の異なる4名それぞれの、小岩への思いがとも伝わりました。自分の住むまちに対する意識をそもそも持たないケースも多い中で、自分のまちを「好き」と素直に言える人がたくさんいる小岩。その素晴らしいさを改めて感じた座談会でした。



MAKOTO UEKUSA

小岩駅前北口通り会 会長 植草 誠

NAOJI KUBOTA

小岩北口仲通り商店会 会長 久保田 直治

AKEMI NAMIKAWA

小岩北口栄通り会 会長 並川 明美

DAIJIRO TAKAHASHI

小岩北口本通り会 会長 高橋 大二郎

KO IWA

ジャーニー

小岩のまちを歩いて目につくハングルの看板。小岩は、実は知る人ぞ知るコリアンタウンでもあります。本場の味を知る韓国人にも喜ばれる料理の数々。さあ、KOIWAを旅してみよう！



韓国有名料理研究家が手掛ける
チェーン店の日本1号店！

本場韓国のみならず日本でも広く店舗展開している「セマウル食堂」。日本初進出がこの小岩店で、新大久保店とは姉妹店だそう。モダンな店内はデートにもぴったり。肉料理のメニューが豊富。定番のサムギョプサルは、豚バラ肉（三枚肉）を鉄板で焼き、サンチュやキャベツ、ねぎキムチなどと一緒に食べる。チュモクパップは、ご飯に韓国のり、ニラ、たくわん、マヨネーズ、特製ソースを混ぜたおにぎり。手袋をして、自分で混ぜて握るのが楽しい。



2



1



セマウル食堂小岩店

セマウルならではのオリジナルメニューも必食！●江戸川区西小岩 1-27-20 イーストビル 1階 ●03-6458-0145 ●火～金曜 16:00～23:00、土曜、祝日 11:30～23:00、日曜 11:00～21:00 ●月曜休

- 1 サムギョプサル 980円 (1人前、写真は2人前)
- 2 サバルチュモクパップ 650円

※価格は全て税込です。



3



4

チキン片手にビールを楽しむ！韓国の若者文化を小岩で満喫

小岩駅北口から蔵前通りを渡った住宅街、西小岩公園そばにあるこの店の目玉は、なんと言ってもフライドチキン。ざくざくとしたクリスピーな食感の衣と、しっとり柔らかい鶏肉が何ともおいしい。付け合わせのハニーマスタードソースと大根の酢漬けが口をさっぱりさせる。締めにおすすめのスイーツは、韓国の流行発信地のひとつ「弘大（ホンデ）」で生まれたトゥンワッフル。トゥン（太っちょ）というだけあって、ボリュームたっぷり！



チキンなら

デリバリーサービスも人気です●江戸川区西小岩 4-11-19 ●03-6869-8868 ●平日 11:00～15:00 / 17:00～23:00、土・日曜 11:00～23:00 ●火曜休

- 3 フライドチキン (半羽) 1,700円
- 4 弘大トゥンワッフル バリーベリー 800円



5



旬の野菜を使った体にやさしい韓国料理をおうちの心地良い雰囲気。

店名は「おばさんの家」という意味。階段を上って店に入ると「アンニョンハセヨ」と優しい声が出迎えてくれる。現オーナーがこの店を引き継いで11年。本場仕込みの懐かしい味を求めて訪れる韓国人も多いそう。季節の食材にこだわり、化学調味料は一切使わない。自家菜園で育てた無農薬野菜を使ったり、山菜採りに出かけたりもする。その理由は「体にいいものを食べてほしいから」。テーブルいっぱいに並ぶバンチャン（お通しのおかず）は、色とりもよくヘルシーな韓国版おふくろの味。



6



イモネ

平日昼は予約があれば営業します●江戸川区西小岩 1-27-24 オリンピアビル 2階 ●03-3650-7587 ●平日 16:00～24:00、土・日曜 11:30～24:00 ●月曜休

- 5 カムジャタン 3,300円
- 6 海鮮チヂミ 2,000円

古今東西南北小岩

小岩に生まれ育った方から必ずと言っていいほど聞かれるキーワードが「縁日」。今回はそんな「縁日」にまつわる南小岩のスポットをご紹介します。

南小岩

縁日が盛んだった
水天宮



水天宮といえば日本橋蛸殻町が有名で、安産祈願の戌の日参りをしたという方も多くはないだろうか。そんな水天宮が小岩にもある。JR小岩駅南口から昭和通りを歩くこと約6分。うっかりすると見逃してしまいそうな小さな社だが、実は昭和通り商店街の発祥ともいえる場所。商売繁盛のご利益があるとして、日本橋の水天宮から御霊分けしたのが始まりだそう（MOVE創刊号参照）。

昭和40年代、この水天宮を中心とした昭和通りでは、毎月5日の戌の日に縁日が開催され、路幅の狭い通りの両脇を埋め尽くすように並ぶたくさんの屋台に、老人から子どもまで大勢の人が押し寄せた。フラワーロードにある箭弓稲荷の縁日（毎月2日）とともに、まさに「活気ある小岩のまち」を象徴する光景だったに違いない。

今、水天宮の縁日は行われていないが、いつもきれいに整えられた社を見ると、地域や商店街の方々から愛されていることが感じられる。（水天宮 南小岩 8-7-11）

南小岩

ご近所さんをつなぐ
拠り所
沖天祖神社



写真提供：江戸川画像文庫（江戸川区）

児童遊園がある広い境内が特徴の沖天祖神社は、地域のお祭りが多い。そのひとつが、毎年4月29日に開催される「下小岩縁日まつり」。もともとは子ども会のミニ縁日から始まったというこの祭りも、回を重ねること39回。勇壮な鯉のぼりが飾られる会場で、地域の中学校による演奏や、商店街が協賛する抽選会などが行われるまちぐるみのイベントだ。今年は3年ぶりの開催が決まり、これまで以上に盛り上がることだろう。

夏になると納涼盆踊り大会、さらに二年に一度の例大祭では御神輿も登場するなどお祭りは続く。沖天祖神社は「イベント好き」という小岩の人々やまちを象徴する、重要なスポットのひとつだ。（沖天祖神社 南小岩 6-16-8）

小岩本気青年会
特別座談会

令和5年3月12日、JR小岩駅を中心としたエリア（北口駅前広場・シャポー小岩・南口ファスタ小岩前広場）を会場にしたイベント「スターティングアクト」が開催されました。史上初となる、北口・南口商店街の合同イベント。運営を担当した「小岩本気青年会（通称 本気会）」の皆さんに、イベント開催や小岩への思いを聞きました。



第1回スターティングアクトを終えて

植草・スターティングアクトの前身は、北口で開催されていたチャリティーイベントです。平成24年3月に東日本大震災の募金活動をしたのをきっかけに、毎年3月第2日曜日にチャリティーイベントを開催してまいりました。最初僕たち本気会は「お手伝い」という立ち位置だったのですが、いつの間にか全権が渡されていきました。たまたま本気会メンバーに大道芸をやっている方がいたので、その方を中心にパフォーマンスを駅前呼び、平成30年から毎年3月「小岩チャリティーパフォーマンスフェスタ」を行うようになりました。

福島・若い力で盛り上げていこう！ということで2回開催しましたが、コロナ禍です。令和2年3月の開催は直前で中止になりました。チラシやポスターも配り終わっていたので、もうギリギリまでやるかやらないか悩んでいましたよね。こんなに長引くなんて予想もしていなかったから。

國居・夏になっても地域のお祭りが全部できなくなっていて、じゃあ、迎春にFIRST A I（ファスタワン）がオープンするから、そのオープニングセレモニーに花を添えられるように準備をしようっていうことになったんです。

植草・その時に「北口のチャリティーパフォーマンスが、忙しい中で自分ができることを担当してくれて、それはすごいことだと思っ。

広報
福島康峻



「南北合同開催は初めてのことですが、それはなぜなのでしょう。開催には」

福島・小岩ってなんとなん、南の人は北に行かない、北の人は南に行かないっていう深層心理があるんじゃないか？僕は会社が南口ですが、北口に行くとなると緊張するというか、誘われないと行かない（笑）。

植草・商店街に関していえば、線路を挟んで小岩北支部と南支部という風に分かれているんです。支部内での繋がりはあるけど、支部を超えた繋がりといいのはあまりなかった。もちろん仲が悪いとかじゃなくて、なんとなく絡む機会がなかった。それを一緒にやろう！となったのは、やはり再開発がきっかけなのかな。

井田・僕たち本気会っていうのは、いろいろなバックボーンを持った人間が集まっているんですよ。消防団、学校のPTA、町会とか。北とか南とか地域のかくりを超えて集まっているから適任だったというのかな。植草君なんて、どこにだって顔が効くんだもの（笑）。

植草…いや、でも大変なこともありました。これまでは本気会単体で運営していたから、メンバー内で話が通れば終わりだったけれど、今回は商店街さんやJRさん、それぞれの思いをすり合わせて作り上げていかなきゃいけないからね。メンバーそれぞれ



フェスタと、南口の商店街が同時にイベントをやってファスタワンのオープンを祝い、まち全体を盛り上げよう！という構想が立ち上がりました。

井田・北口でやっていた頃から「将来的には同じ日にいろんな場所ですてきたらいいよね」という話はしていたから、商店街から一緒に頑張ろうと声をかけてもらったのは嬉しかったよね。



副会長
植草和也

に関わったりしているので、毎月毎月いろいろなことに携わっているうちにあっという間に1年が過ぎて「また来たなあ、本気会」という感じ。イベントが終わると「やった、終わった！楽しかった！」と思うけれど、すぐだね。

植草・仕事や家庭に加えて、それぞれの地域活動にも関わっている人が多いから、野球でいうとオールスターゲームみたいな。

福島・僕は小岩生まれですが、小中高大と学校はすべて江戸川区外。小岩のことを全く知らなかったんですよ。友だちも近くにいないし飲んだり食ったりする店のこともわからなかった。でも本気会に入ったら詳しい人たちがたくさんいて、店の話とか学校の話とか聞いて面白いです。まさに「小岩に会いに来て」という感じ。わからないことや困ったことがあれば、ここで聞けばいいんだという安心感があります。



副会長
國居寿美恵

「最後に、皆さんが思う「小岩」についての思いをお聞かせください。」

井田・僕は結婚してから小岩に住み始めました。子どもの幼稚園の「おやじの会」から地域と関わり始め、それからさまざまな活動をしてきて思うことは、小岩は「相談ができるまち」だということ。同士の関係が深いから、誰かに相談すればきっと誰かに繋げてもらえる。町会長さんでも誰でも「あの人が解決してくれるよ」と教えてくれるんですよ。

「コロナ禍に翻弄されながら、ようやく実現叶ったイベントなのでね。実際に開催してみたいかがありましたか？」

植草・スタンパラーが好評でした。初めての試みだったのでわかりづらい点はあったかもしれませんが、3000枚くらいカードがばらばらで、完走した方が600人くらい。南と北の両方で買い物しないとゴールできないので、たくさんの方が普段行かないお店に足を運ぶきっかけになったと思います。

福島・JR小岩駅にも協力してもらって、小岩駅北口と南口に階段アートを展示したんです。これはすごくインパクトがあって、なんというかイベントに箔が付きましたね。

國居・北口駅前広場の和太鼓演奏もすかかったですよ。イベントを知らなかった方も、音を聞いて見に来てくれたりして。ファスタ小岩前広場の大道芸にも通りがかりの人が足を止めてくれて、どの出し物も「これラガララだったなあ」というのはなく、本当にありがたかった。



広報
井田佳男



住み始めて、その翌年からPTAに入りました。最初からぐいぐい行ったら、すんなり受け入れてもらえた。だから知り合いがいらない小岩というのを経験していないんです。小岩は新しい人でも受け入れてくれるところなので、物怖じしないで飛び込んでいけば自然と仲間もたくさんできますよ。

福島・居酒屋だって小岩の人はあまりチェーン店に行かない。初めての人はちょっと勇気があるかもしれませんが、地元のお店に入ったり、イベントに参加したりしてみてもいい。横の繋がりを大事にすれば、小岩のいいところがより見えてくると思うので。植草・小岩では再開発が進んで、建物が壊されたり新しいマンションが建ったりしてまちが変化しています。これからどうなるのかはわからないけれど、良くなってもらわなくちゃ困る。だから、新しく小岩に住み始める人が増えてまちが賑やかになって、スターティングアクトのようなイベントを通じて町会や商店街にも繋がって…という話になれば一番嬉しいですね。

皆さんが口を揃えて語ったのは、「積極的に地域に関われば、小岩での暮らしがもっと楽しくなる！」ということ。商店街で買い物をしたり、町会のお祭りに参加したり、「小岩」を楽しまっかけは意外と身近にありそうですね。小岩本気青年会の皆さん、来年のイベントも楽しみにしています！



MY KOIWA *style*

小岩でおすすめのお店やスポットを紹介する投稿コーナーです。
読者の皆様から、素敵な情報をお送りいただきました。ありがとうございます。
投稿はまだ募集！皆さんもぜひ、小岩のお気に入りを教えてください。

あなたの "MY KOIWA style" を教えて！

右の QRコードより投稿が可能です。また、KOITTO TERRACE
カウンター(南小岩7-24-20 FIRTA I (ファスタワン) 1階・
10:00-17:00 水・日曜休)でも受け付けています。
あなたの好きな「小岩」を教えてください。



MOVE 読者投稿フォーム

01 岩野製麺所



江戸川区南小岩7-17-16

南小岩コミ館近くにある昔ながらの製麺所で、
小売りもしています。そば、うどん、中華麺
など種類も豊富。生そばは太めのしっかりした
麺で美味しかったです。店頭立つ奥様も、
茹で方など気さくに教えてください。

(投稿者: Sugar)

02 辰巳新橋



春夏秋冬、いろんな姿を見せる辰巳新橋。ドラ
マのロケ地にもなった。遠くスカイツリーを
見ることもできる撮影ポイントでもある。と
りわけ夕陽に映える姿は他の追随を許さない。

(投稿者: ケンウッドハウス)

03 CHADO茶度小岩店



江戸川区南小岩7-26-21

カラフルなトゥンカロン(マカロン)が並ぶ、
かわいいお店です。季節限定品もあって楽し
めます。ギフトボックスに入れて手土産にす
ることも多いです。小岩で「おしゃれ」を感じ
たい方におすすめです！

(投稿者: nana)

編集後記

初めて編集に携わり、私自身が小岩を新しく知ることができました。取材にご協力いた
だいた方々からは小岩愛を感じる事ができ、とてもあたたかい気持ちになりました。
まさに「心が動くまち KOIWA」を感じています。

取材にご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。そして読者の皆さん、
どうか最後まで読んでいただき感想などお寄せいただけたらと思います

(ヒシ/KOITTOスタッフ)

「MOVE～心が動くまち KOIWA」は、KOITTO(一般社団法人小岩駅周辺地区エリアマネジメント)が
年2回企画・発行するフリーペーパーです。

MOVE ～心が動くまち KOIWA #002 2023年4月発行

企画・発行 一般社団法人小岩駅周辺地区エリアマネジメント (KOITTO)
〒133-0056 東京都江戸川区南小岩7-24-20
FIRTA I (ファスタワン) 1階 KOITTO TERRACE(コイツテラス)
TEL 03-6657-8007

編集 まいぶれ江戸川区(株式会社京葉十二社広告社)

印刷 有限会社ケイ・アイ・シー

表紙 小岩神社(撮影/宇城 義二)

小岩

ブルース

第1話 むき出しのはだかで生きていける街

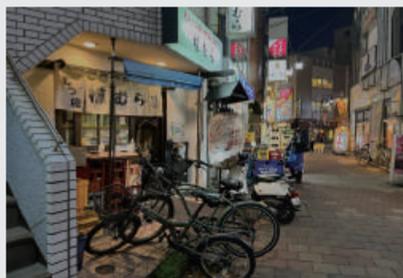


(取材・文 カト/KOITTOスタッフ)



を流し、女湯のそいでみる？なんてエッチな話
で盛り上がる普通の男の子だった。高校卒業後、
小岩に住みながらも、都会にあこがれ、かっこい
い・かっこわるいので物事を決めていた頃、都会で
がむしゃらに働き、小岩には寝に帰ってくるだけ
の日々だったと言っ。大人になると時間が過ぎる
のもあつという間で、気づくと三十路。毎日の忙
しさに疲れ、ふと足を止めた時「やっぱり小岩が
一番いい、落ち着く」。寝に帰るだけの場所が大
切な場所へと変わった瞬間だった。

まだ寒い3月の夜 小岩駅——
時間通りに待ち合わせの場所に着くと、気だるそ
うな男性が背中を丸めて立っていた。
今夜、私たちはこの男性の小岩ブルースを感じる
ことになる。
ちよい悪おやじことユウさんは、生まれも育ち
も小岩、生粋の小岩っ子。幼少期の小岩はまさに
映画『ALWAYS 3丁目の夕日』のようだった
と話す。学校から帰ればランドセルをバットとグ
ロープに持ち替え、宿題もせず、日が暮れるまで
遊んだ。中学生になると悪友と銭湯で部活動の汗



お酒もすすみ、ユウさんと過ごす時間も心地よ
くなって来た頃、ユウさんが「小岩はむき出しのは
だかで生きていける街なんだよ」とつぶやく。最
初はふざけて自分のことを「歩くデタラメ」なん
て揶揄していたけれど、小岩が好きで好きですこ
く好きだということが、伝わった。
小岩の街は変わるけれど、ユウさんは変わらず、
独りで暖簾をくぐるのだから。
「じゃ、俺はもう1軒行くからさ」で「そう言っ
てユウさんは、小岩の夜に消えていった。」

毎日が出会いの街 小岩——
仕事が終わわり、毎晩とっていいほど外で呑む。
独りでふらっと立ち寄るのが好き、寂しくはない。
小岩の飲み屋は出会いがあり、かたつくしい挨拶
なんかななくても会話が弾む。人の会話を盗み聞
きしては割って入り仲良くなる。独りだなんて思
ったことはない。そんな秘かな楽しみを続けて37
年、煙草を吸いながら「すっかりじいさんだよ」と
笑いながら話すユウさんだが、お決まりのジャケ
ットでデニムを履きこなす姿はスリムで格好いい。

